

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第2回 西東京市地域密着型サービス等運営委員会
開催日時	令和4年11月17日（木） 午後7時から8時30分まで
開催場所	西東京市役所 田無第二庁舎4階会議室
出席者	（出席委員）吉岡座長、南副座長、内村委員、栗飯原委員、齋藤委員、鈴木委員、玉置委員、田村委員、濱野委員、宮川委員、矢野委員 （欠席委員）原嶋委員、古賀委員 （事務局）介護保険担当課長、高齢者支援課介護指導給付係職員 4人
議 題	（1） 前回会議の会議録について （2） 地域密着型サービスの課題について （3） 令和4年度地域密着型サービス事業者応募・選定について （4） その他
会議資料の名称	配布資料 前回会議録 資料1 地域密着型サービスの課題について 資料2 令和4年度地域密着型サービス事業者応募・選定について 当日配布資料 SOMPOケア株式会社 西東京市 地域展開
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

1 開会

座長が議事を進行
開会の挨拶

○事務局：
資料の確認

2 議題

(1) 前回会議の会議録について

○座長：
それでは、令和4年度第1回会議録の確認について、修正・変更などあるか。
(意見なし)

○座長：前回会議録については承認する。

(2) 地域密着型サービスの課題について

○座長：
続いて次の議題の地域密着型サービスの課題について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：
地域密着型サービスについて、資料1より説明。

○委員：
地域に根差した運営の部分で、閉ざされた運営とあるが、どのような状況か。

○事務局：
例えば、地域密着型サービスは、地域に開かれた運営をするために、市の職員や利用者家族、地域の民生委員の方々などが参加する運営推進会議というものを開催する必要がある。しかし、ここ数年のコロナ禍もあり、運営推進会議が開催されなかったり、地域との行事がなくなってしまったりと、各事業所の運営状況を知る機会が減っている状況である。現状で考えられる対応としては、運営推進会議も書面開催など通じて、地域の方々に運営状況を発信していただくことなどである。

○委員：
地域密着型サービスはどのような種別があるか、教えていただきたい。また、地域密着型サービスは定員が少ないなど、小規模なものという理解でよいか。

○事務局：
地域密着型サービス種別の分類は9つある。このうち、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護、夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対

応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の7種別については西東京市内に既にあるサービス種別である。残りの2つの種別である、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護については、現状、西東京市内にはない種別である。

定員の考え方は各々のサービス種別で異なるが、例えば地域密着型通所介護では定員が18人以下であるとか、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護については定員が29名以下であるなど比較的小規模であることは多い。また、地域密着型サービスについては、原則として、西東京市民の方のみが利用できるということが特徴である。

○委員：

医療と介護の連携とあるが、小規模な介護事業所ほど、医療が入りづらいという印象がある。通所介護事業所が行っているお泊りデイサービスなど含め、医療としても介護事業所に対して課題と思われる事象がある。この委員会を以て、介護事業所への指導や、市への諮問などはできるか。

○事務局：

本委員会の意義としては、地域密着型サービスの指定等の際に、被保険者その他の関係者の意見を反映させるための場である。そのため、本委員会を以て指導ということではない。しかし、委員の皆様が感じている課題などがあれば、共有していき、別の機会に事業所へ伝えることは可能と考えている。通所介護事業所が行っているお泊りデイサービスは自費のサービスであるため、本委員会で本格的に議論することはないが、皆様が感じている課題などの共有はできる。

○委員：

何年か前の本委員会の委員も務めた。過去には、新規開設予定の半年ほど前に指定についての議論をし、例えばトイレの位置やバリアフリー対応にするよう意見を伝え、実際に事業所に反映できた事例もあった。ここ数年は事業所の数も増えてきたことやコロナ禍も影響してか、なかなか事業所のレイアウトについて意見を反映させることも難しくなってきたが、本委員会において各々の委員が意見を出し合うのは有意義であると感じている。

○委員：

地域医療との連携について課題が挙げられているが、具体的に医療機関や市ではどのようなものが考えられているか。

○委員：

団塊の世代が75歳以上になる2040年に向けて、基礎疾病がある方などの看取り対応など、医療だけでは全てを対応しきれないだろうといった課題がある。そうした中では、介護の地域密着型サービスとは密接に連携していかなければとも考えている。本委員会においてもこれからの看取りや超高齢化社会など、1年に1つでもそうしたテーマも取り上げて、議論出来たら良いと感じている。

○事務局：

全ての事業所という訳ではないが、例えば、事業所ごとに連携している医療機関と、利用者それぞれの主治医との関係において、連携の難しさを感じている事業所もあるようである。

○委員：

本委員会において、地域密着型サービスの指定等のテーマ以外に課題など議論するにしても、ある程度、テーマごとに小委員会を立ち上げるなどしないと、時間も限られる中で効率的な議論は難しいと感じた。法律的にも、本委員会の権限がどこまでなのか確認する必要も感じた。

○座長：

皆様の忌憚なきご意見、建設的なご意見ありがたく思う。こうした皆様の有意義なご意見をいただきながら、西東京市らしさを出せるよう本委員会を運営できればと感じた。様々な業種の方が集まっているため、議題にあるようなそれぞれが感じる課題を共有しながら、本委員会を進めていく。

(3) 令和4年度地域密着型サービス事業者応募・選定について

○座長：

続いて次の議題の令和4年度地域密着型サービス事業者応募・選定について、事務局から説明をお願いします。また、今回ご応募いただいたSOMPOケア株式会社（以下、「SOMPOケア」と記載）の方にも来てもらっているので、事務局の説明の後に、法人の方からも説明をお願いします。

○事務局：

令和4年度地域密着型サービス事業者応募・選定について、資料2より説明。

○SOMPOケア：

当日配布資料「西東京市 地域展開」に基づき説明。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業について説明。

○座長：

ただいまの事務局及びSOMPOケアの説明に関し質疑はあるか。

○委員：

法人として、有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅を運営しているようだが、サテライト展開というのは、その施設に付随した事業になるのか、そこを拠点として地域に展開する事業なのか。

○SOMPOケア：

サテライト展開としては、サービス付き高齢者住宅を拠点として、そこから半径1.5kmから2.0kmの範囲で地域の方々にサービス提供できるように在宅ケアの事業展開していく。

○委員：

夜間を含め、利用者の方の医療的なトラブルが生じる可能性もあるが、そのあたりはどのように対応するのか。

○SOMPOケア：

まずは、地域の医療機関の方々と個別にしっかりと連携できたらと考えている。当法人において、本事業を実施するにあたり、連携型としており、訪問看護が地域の医療機関との窓口となり、地域の医療機関との連携を深めていけたらと考えている。

○委員：

サテライト展開するにあたり、日中、夜間のおおよその人員配置を教えてください。

○SOMPOケア：

現状では、田無町に設置予定の基幹型の事業所にオペレーター等の人員を配置する。各サテライトには、サービス付き高齢者住宅の職員が兼務で本事業のサービス提供を行う他、適宜人員を増やしていく予定であり、利用者が増えていくにつれ、対応する職員も増やしていく予定である。

現状では、常勤5名で24時間365日対応することを想定しているが、サービス利用者が増えてきたら、対応できるように人員を増やしていく予定である。

○座長：

ただいまの質疑に関し、通信環境によりオンラインで参加している方々には聞き取りづらい状況になっているため、事務局を通じて、書面で回答を用意するように。

○委員：

訪問看護について、現状でどこかの訪問看護ステーションを利用している利用者が、本事業の定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用する際、これまでの訪問看護ステーションをそのまま利用できるという理解でよいか。

○SOMPOケア：

本事業を実施する上で、今回は連携型を選択しているため、利用者ごとに、そのままの訪問看護ステーションと連携できるようであればそのままの利用となるし、それが難しいようであれば、弊社の訪問看護ステーションと連携し、利用してもらう。

○委員：

SOMPOケアの西東京市のサービス付き高齢者住宅の居住者は全体で200名ほどだと思いが、常勤5名の人員でサービス付き高齢者住宅の居住者と、その他の地域の市民の方にもサービスを提供するという理解でよいか。その場合、人員として常勤5名で足りるのか。

○SOMPOケア：

本事業の展開として、田無町の基幹型の事業所で常勤5名の体制をとっているととも

に、各サテライトにも、当該事業に対応できる人員を常勤で5名ほどの人員配置を検討している。その中で、併設するサービス付き高齢者住宅の居住者と、近隣地域への展開を並行して行い、利用者の増加に応じて人員も増加していく予定である。

なお、サービス付き高齢者住宅の居住者全員に本サービスを提供する訳ではないので、まずは現状の人員体制で対応が可能であると考えている。

○座長：

ただいまの質疑に関しても通信環境によりオンラインで参加している方々には聞き取りづらい状況になっているため、事務局を通じて、書面で回答を用意するように。

西東京市で事業を実施していただくにあたり、それぞれの職種の方々との地域で密接に連携していくとともに、西東京市民の皆さまに質の高いサービス提供をお願いする。

(4) その他

○座長：

その他について、事務局からお願いします。

○事務局：

この度、途中から通信環境が悪くなってしまい、お詫び申し上げます。

次回の地域密着型サービス等運営委員会について、令和5年1月26日（木）19時から実施したいが、皆様の都合はいかがか。

(一同、異議なし)

○事務局：

では、次回の地域密着型サービス等運営委員会は、令和5年1月26日（木）19時に実施する。

○座長

他になれば、本日の会議は以上とする。

これで本日の委員会は閉会する。

以上